

# 図書館だより



# 5月号

2021年5月号 (NO.136)

〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1 TEL 0827-52-5338

## お知らせ

\*5月4日・5日は休館します。

\*5月28日は整理休館日です。



5月 (May)						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

←○はお話会・■は休館日です

☆開館時間

火～土 10:00～18:00

日 9:00～17:00

☆貸出冊数 1人8冊

(うち AV 資料 2点)

☆貸出期間 2週間

ホームページ

<http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/>

## おはなし会

☆おひざにだっこのおはなし会 (赤ちゃん向け)

5月14日 (金) 10:30～【毎月第2金曜日】

図書館2階ギャラリー1

※事前申込が必要です。(カウンターか電話で受付)

先着5組程度・申込者多数の場合2回目を11時から実施

☆おはなし会 (幼児・小学生向け)

5月15日 (土) 11:00～

図書館2階ギャラリー1

※事前申込が必要です。(カウンターか電話で受付)

先着5組程度

\*状況により変更となる場合があります。



↑この他にもたくさんのお話を展示しています！ぜひ見に来てくださいね！

## ◆一般 Let's enjoy ドライブ

\*「ソング・オブ・サンデー」

藤堂 志津子/著 文芸春秋

「こんどの日曜、ドライブに行かないか？」絵描きの利里子と大工の鉄治、そして互いの愛犬。人生に多くを期待しない男女が出掛けた不思議な小旅行の一日。微妙な心情を爽やかに綴る新感覚の恋物語。

## ♥児童 水のいきもの

\*「ため池の外来生物がわかる本」

加藤 英明/文 徳間書店

「ため池」の歴史から、池の水をぬいて、ゴミや外来生物をとりのぞく「かいぼり」のこと、そして「外来生物」についてまで、テレビでも活躍する農学博士が、写真とイラストを多用してわかりやすく解説する。

## ♣時事 家族

\*「朝が来る」

辻村 深月/著 文藝春秋

「子どもを、返してほしいんです」親子3人で穏やかに暮らす栗原家に、ある朝かかってきた一本の電話。電話口の女が口にした「片倉ひかり」は、確かに息子の産みの母の名だった…。

## ♠作家展示 吉川英治文学新人賞受賞作

\*「夜のピクニック」

恩田 陸/著 新潮社

高校最後のイベントに賭けた一つの願い。あの一夜の出来事は、紛れもない「奇跡」だった、とあたしは思う。ノスタルジーの魔術師が贈る、永遠普遍の青春小説。



## 図書館員 おすすめ本

「骨を弔う」 宇佐美 まこと/著 小学館

「骨格標本が発掘された」という新聞記事を見て、小学生時代に仲間とその山中に骨格標本を埋めたことを思い出す。山の中に埋めた骨格標本が実は本物の骨だったのでは！？その骨の真相を巡り、豊は自分探しの旅に。謎を解く旅で出会う同級生たちは、大人になっても変わらずそこにいた…。ちょっと切なく、しかしラストの展開は期待して！読後は、同級生と思い出話をしながら飲みに行きたくなります。(鳥)

## マロンの部屋



ぼくマロン♪

春の花粉のシーズンも落ち着いてきたけど、ももちゃん、いまだに「マスク」してる！？

でもそれは「コロナ」っていう悪いやつのせいなんだって。ももちゃんは「エチケットよ」って教えてくれたワン！

ワンワン言うと飛沫が飛ぶから静かにしようねって言われたよ。みんなも「マスク」はエチケットだワンツ！

(あっ！静かにしなくちゃ…)

## 新しい本

\*貸出中の本は予約することができます。

ご予約は、来館・インターネット・お電話にて承ります。

詳しくは、図書館カウンターまで。



### 紹介



#### 「ミシンの見る夢」

ピアンカ・ピッツォルノ／著 河出書房新社

19世紀末、階級社会のイタリア。お屋敷に通って針仕事を請け負うなかで知った、上流家庭の驚くべき秘密…。疫病のために家族を失い、祖母に育てられた貧しい少女が、お針子として、ひとりの女性として成長していく姿を描く。



#### 「オサム」

谷川 俊太郎／文 童話屋

誰もがいい人だと言うが、オサムは自分がいい人だとは思っていない。谷川俊太郎が、自身の詩「ぼくのゆめ」の「いいひと」を具体化した「オサム」をイメージして描いた絵本。

### 一般



#### 【日本の小説】

☆正欲 朝井 リョウ／著 新潮社

生き延びるために、手を組みませんか。いびつで孤独な魂が奇跡のように巡り遭い…。

#### 【雑学】

☆コロナとバカ ビートたけし／著 小学館

新型コロナウイルスは我々の日常を一変させ、これまで隠されていたニッポン人の「愚かさ」等を炙り出した…。

#### 【料理】

☆続くお弁当 夏梅 美智子／著 主婦の友社

お弁当を6年作り続けた料理研究家が、お弁当作りがラクに続くルールとコツを紹介。

#### 【児童文学研究】

☆物語のものがたり 梨木 香歩／著 岩波書店

「秘密の花園」「赤毛のアン」など児童文学の名作を読み解き、先人たちの仕事の核心に迫る。

## こどもの本



#### 【生活】

☆お菓子はすごい！ 菅又 亮輔ほか／著 柴田書店

パティシエが先生！小学生から使える、子どものためのはじめてのお菓子の本。

#### 【日本のおはなし】

☆ひかる石のおはなし 小手鞠 るい／作 あかね書房

ことばを失った少年・楓は、ふしぎな石の秘密に触れて、色あせない命の輝きに気づき…。

#### 【絵本】

☆ぷっくりえんどうまめ いわさ ゆうこ/さく 童心社

えんどうまめの魅力を楽しみながら伝える、おいしい野菜の絵本。

#### 【ティーンズの本】

☆みつばちと少年 村上 しいこ／著 講談社

クラスの中でうまくやっていた雅也は、中1の夏休みを利用して、養蜂場を営むおじさんのいる北海道へ。

\*この他にも、新刊本が入っています。大竹市立図書館のホームページまたは、館内の新刊案内をご覧ください。